

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 若久福祉の里

目標達成計画書

作成日: 平成 27 年 06 月 07 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	51	日常的な外出の支援	利用者の気分転換に繋がる外出の支援が行われていないので、利用者の希望する外出の支援を職員の勤務体制を工夫して取り組み、日課の散歩や外出レクを職員全員で検討していく。	外出レク担当者を交代で決め、車椅子利用者が、安心して外出できるように下調べをして、家族やボランティアの協力を得て、利用者の生き甲斐に繋がる外出の支援に取り組んでいく。	12ヶ月
2	4	運営推進会議を活かした取り組み	パワーポイントを使ったホームからの説明が中心になり、参加委員とゆっくり話す時間が少なく、内容も画一化してきているので、会議の手法や議題を検討し、ホームの運営を推進する会議になるように取り組んでいく。	会議がマンネリ化傾向になっているので、介護以外にも、地域で困っている問題や、気になる事等を話し合い、行政と協働して、問題解決に向けて取り組み、地域福祉の拠点として、社会貢献を目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。